

ロード銀山の指定管理候補者の選定結果について

ロード銀山の指定管理者の公募を行い、大田市公の施設指定管理者選定委員会で審査を行った結果、次のとおり指定管理候補者を選定しました。

なお、指定管理候補者については、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を経た後に指定管理者に指定されます。

施設の名称	指定管理候補者	指定期間
ロード銀山	名称 株式会社 大田ふるさとセンター 代表取締役 神谷 光夫 所在 大田市久手町刺鹿 1945 番地 1	令和6年4月1日から 令和9年3月31日まで

【審査の経過】

募集要項、選定基準等の審査	令和5年6月6日(火)
選定委員事前説明会	令和5年10月2日(月)
申請書類等審査	令和5年10月10日(火)
応募者プレゼンテーション・ヒアリング及び採点	令和5年10月17日(火)
総合審査	令和5年11月9日(木)

指定管理候補者の選定結果については次のとおりです。

施設名	ロード銀山
応募団体等 (届出順)	①株式会社 大田ふるさとセンター 代表取締役 神谷 光夫
指定(予定)期間	令和6年4月1日 から 令和9年3月31日 まで
指定管理者の 候補者団体名	所在地 大田市久手町刺鹿 1945 番地 1 名称 株式会社 大田ふるさとセンター 代表者 代表取締役 神谷 光夫
審査内容	ロード銀山の指定管理候補者の選定にあたり、施設の管理運営に対する理念・基本方針、人的基盤や財政基盤の安定性、実績や経験、施設の設置目的の達成に向けた取組み、利用者の満足度、指定管理業務に係る経費、管理運営体制、平等利用・安全対策・危機管理体制、その他必要事項について書類審査及びプレゼンテーション・ヒアリングを行い、選定審査基準に基づき審査した。 (選定委員：7名〔内、民間の選定委員4名〕)
特記すべき経過	指定管理候補者の選定については、客観性、透明性を確保するため、民間委員とともに選定審査を行っている。 民間側の選定委員には、事前に指定管理業務に係る説明会を開催し、施設の概要説明を現地で行っている。

<p>評価及び結果</p>	<p>選定審査基準に基づき採点を行った結果、200点満点中、「株式会社大田ふるさとセンター」は162.3点の評価となった。</p> <p>以下、団体の評価を記述する。</p> <p>【株式会社 大田ふるさとセンター】</p> <p>今回、応募のあった団体は、現在、指定管理者としてロード銀山の管理運営を行っている「株式会社 大田ふるさとセンター」の1団体のみであった。</p> <p>当該団体は、平成3年10月の第3セクター設立当初より当該施設の受託者あるいは指定管理者として管理運営を行っており、施設を熟知している団体である。</p> <p>プレゼンテーション・ヒアリングにおいては、「若者の定住化を促進するため、産業の振興、雇用の場の創出、地域の魅力の再発見と宣伝に努め、適正な管理業務を行う。」とした基本方針のもと、大田市の東の玄関口として地域観光情報の提供を充実させるとともに、ロード銀山を中間拠点とする共同物流の実現に向け取り組むとの説明がなされた。</p> <p>また、自主事業については、ここだけシリーズの継続、地産地消による地元食材の利活用、県人会・市人会への積極的な参加、ホームページを利用した情報の発信など、大田市の魅力の発信や顧客満足度の向上を図るとの提案がなされた。</p> <p>選定委員会では、オンラインショップの利用率、食堂利用者のターゲット設定、来客数増加に向けての取組等について質疑があり、山陰道の開通を控え、魅力ある道の駅としてPRしていく必要性についての意見があった。</p> <p>加えて、道の駅として利用しやすいように、土産物の梱包への工夫やトイレの衛生面の向上について意見があり、より一層の集客に向けて取り組むことを求められたところである。</p> <p>全体として、観光客と地域住民の双方に利用してもらえるような運営の難しさが指摘された一方で、これまでのノウハウを生かした管理に期待する評価がなされた。</p> <p>なお、当該団体に対する選定委員の最高得点は186点、最低得点は137点であった。</p> <p>以上のことから、ロード銀山の指定管理者の候補者として「株式会社 大田ふるさとセンター」を選定した。</p>
---------------	--